

日本初、与信管理をサポートする「AI 新規取引アドバイザー」を GPT Store で提供開始
取引先企業の社名や業界名を伝えるだけで、企業情報の収集や業界分析が無料で可能
～新規取引開始時の稟議書作成をはじめ、与信管理に特化したプロンプトが実装～

AI 与信管理サービスを提供するアラームボックス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：武田浩和、以下「当社」）は、OpenAI 社が提供する GPT Store に企業調査会社のノウハウを持つ AI 与信管理チャットサービス「AI 新規取引アドバイザー」の提供を開始します。

本サービスは、新規取引を始める際に必要な取引先の情報収集や業界分析を自動化するほか、稟議書作成のアドバイスを行うことで、企業の安心かつスピーディーな新規取引の開始をサポートします。

これにより、新規取引の与信管理を手軽に実施でき、かつ属人的に行われがちな企業調査業務を標準化することができます。OpenAI 社の提供する GPT Store に企業調査会社のノウハウを基に構築された GPTs がリリースされるのは国内初の取り組みになります。※1

AI 新規取引アドバイザー



AI 新規取引アドバイザー

取引を新しく始めるときに必要な取引先の情報収集や稟議書作成をサポートします。使い方がわからないときは「このチャットの使い方を教えて」と聞いてくださいね。

By ALARMBOX

新規取引の稟議書の書き方を教えて

取引を始める前に知っておくべきことを教えて

稟議書作成用に業界分析をして

稟議書作成用に取引先企業の情報を集めて

Message AI 新規取引アドバイザー...

ChatGPT can make mistakes. Consider checking important information.

※開発中の画面のため、実際とは異なる場合がございます。

◆開発背景

昨今、AI の技術進歩が様々な分野に影響を与えています。特に ChatGPT をはじめとした生成系 AI が社会に与えた影響は大きく、企業には AI を活用した新たな価値提供が期待されています。経済産業省では「生成 AI 時代の DX 推進に必要な人材・スキルの考え方」を取りまとめ、生成 AI がもたらす社会的

報道関係者各位

プレスリリース



な変化として、これまで DX に取り組んできた企業にとっては、生成 AI の利用を通じて更に高度な DX を実現することができるとしています。※2

一方で、生成 AI に適切な指示（プロンプト）をすることは難しく、生成 AI による DX 推進にはプロンプトの習熟とあわせて業務の深い知見が必要になります。

当社はこれまでも、急激な経済変化や新たなビジネスモデルに対応できる企業調査を実現するべく、AI 技術を活用してネット上の企業情報を収集・解析することでリアルタイムな企業調査の結果を与信管理に反映させるサービス「アラームボックス」を提供してきました。また、2023 年 5 月には生成 AI をいち早く企業調査に取り入れるべく、無料で取引先の企業や業界の評判について AI に聞くことができる「AI 企業調査アシスタント」を「アラームボックス企業情報」サイトに実装しました。※3

これらの背景を受けて、当社の持つ企業調査と AI に関する知見を掛け合わせることで与信管理業務を DX 化することを目的に、OpenAI 社が提供する GPT Store において「AI 新規取引アドバイザー」の提供を開始します。本サービスは、ChatGPT 上で企業調査のノウハウを持った生成 AI との対話が可能です。これにより、ChatGPT Plus の利用者は AI と対話するだけで、取引先の情報収集や新規取引時の稟議書作成業務を効率化することができます。

※1 自社調べ（2024 年 1 月）／日本国内における GPT Store にリリースされた企業調査会社が構築した GPTs による与信管理サービスとして

※2 経済産業省 2023 年 8 月 7 日発表「生成 AI 時代の DX 推進に必要な人材・スキルの考え方」

<https://www.meti.go.jp/press/2023/08/20230807001/20230807001.html>

※3 アラームボックス 2023 年 5 月 31 日「ChatGPT を活用した「アラームボックス企業情報」サイトをリリース」

https://alarmbox.co.jp/allnews/press/230531_companyinfosite/

◆新サービス「AI 新規取引アドバイザー」について

- ・取引先企業の社名や業界名を伝えるだけで、企業情報の収集や業界分析が可能
- ・稟議書の作成方法や、新規取引時に知っておきたいことなど与信管理のアドバイスが聞ける
- ・企業調査会社による与信管理に特化したプロンプトで新規取引をサポート
- ・GPT Store を利用できる GPT Plus 会員は、無料で何度でも使用可能



AI新規取引アドバイザー

新規取引をする理由を書くにあたって、参考になるように業界分析をします。どの業界についてお聞きしたいですか？



You

運送業界について



AI新規取引アドバイザー

2024年の日本の運送業界についての分析は、いくつかの重要なポイントに焦点を当てています。

1. **労働時間規制とその影響**：2024年4月からトラックドライバーに対する時間外労働の960時間上限規制が適用されることが予定されています。これにより、労働時間が短くなり、輸送能力が不足する可能性があります。これは「物流の2024年問題」として知られ、トラックドライバーの不足が懸念されています。もし何も対策が行われなければ、2024年には輸送能力が14.2%、2030年に

本サービスは、AI 与信管理サービスを提供する当社のノウハウによって構築されており、与信管理に特化した AI を、ChatGPT 上で利用できます。これにより、新規取引の稟議書作成の際に必要な企業調査や業界分析にかかる時間を短縮することが可能です。また、業務時間の短縮だけでなく、属人的に行われがちな企業調査業務を標準化することができます。

リリース日：2024年1月12日

URL：<https://chat.openai.com/g/g-3Y67tmK2k-aixin-gui-qu-yin-adobaiza>

料金：無料

※本サービスは、OpenAI 社が提供する ChatGPT を利用したサービスです。回答は ChatGPT に自動生成されるため、出力された回答について当社は一切の責任を負いません。当社は今後も改良を続け、精度向上に取り組んでいきます。

OpenAI 社の利用規約：<https://openai.com/enterprise-privacy>

◆今後の展望

当社は、これまでハードルが高いとされてきた与信管理業務を企業の大小に関わらず全ての企業が負担なく取り組める業務にしたいと考えています。そのため、いつでも、どこでも、だれでも、気軽に相談できる与信管理のパートナーとなる存在を目指して、当社の企業調査ノウハウを活用した GPTs を構築しました。今後も当社は、業界や時代によって変わる与信管理の課題に応えるべく新しい技術を取り入れ「すべての企業取引に安心を」の理念のもと、与信管理 DX を進めていきます。

◆アラームボックスについて

報道関係者各位

プレスリリース



AI 与信管理サービス「アラームボックス」は、企業や自治体の HP、SNS やロコミなどインターネット上に存在する定性情報を AI が収集・解析するクラウドサービスです。新規取引時の与信判断、既存取引先の継続的な与信管理、さらに売掛保証までを一括して行うことができます。収集・判断の難しいネット上の情報を、与信への影響度を診断したうえでお届けするため、インターネット上の情報を活用した「高精度」な与信管理を、「カンタン」に、「低価格」で導入できます。それにより、取引先の情報収集に関わる業務負荷を大幅に削減し、スマートフォンや PC から取引先を登録しておくだけで、迅速にリスクに対応できます。



◆アラームボックス株式会社 会社概要

代表者：代表取締役社長 武田 浩和

所在地：東京都新宿区市谷本村町 3 - 2 2

設立：2016年6月

資本金：3.36億円

企業サイト：<https://alarmbox.co.jp>

サービスサイト：<https://alarmbox.jp>

【本件に関するお問合せ先】

アラームボックス株式会社 PR 担当 稲田

TEL：050-3749-5843 MAIL：pr@alarmbox.co.jp